

研修は先生方が変わるきっかけの一つです！
夏休みの一日、みんなと学んで、
新たな気持ちで新学期を迎えてみませんか？

研修受講者 Voice

研修を受講した方々からこんな声が寄せられました。



● 子どもを見取ることに新しい視点を与えていただいた研修でした。子どもの発言には、その子の経験や家庭環境からつながれた、どうしても伝えない思いがあるということです。授業の中でもっと子どもの発言を大切にしたいと思うことができました。

● 子どもたちを育てようとする気持ちは、立場が違っても同じなのだ改めて感じた。ついつい解決することを優先して考え、「待つ」ことをおろそかにしていたが、「待つこと」こそ大切なのだということを確認した。

● 子どもの一言一言には、大切な思いがあることを学びました。子どもの声を、思いを大切に、自分の授業を省みたいと思いました。

● 現職の先生方との対話を通して、自分にはない考え方や感じ方に触れられて貴重な経験になりました。

● 子どもたちの言葉一つ一つに耳を傾け、表情よく見て、受け入れていこうとすることを大切にしたいと思いました。

受講の申し込みについて

受講申し込みは、電子メールで下記受講申し込み用メールアドレスまで必要事項を記入の上、個人ごとに申し込みください。各学校別に別途メール送信する「FAX専用通信票」での申し込みも可能です。なお、電子メールでの申し込みに限り、受付完了した旨の返信をいたします。

✉ kyoiku-s@adb.fukushima-u.ac.jp ☎ 024-548-3181

メール・FAX記入必要事項

- メール件名 「現職講座申込」
- メール本文 (下記の項目を記入)
 - ①氏名 (フリガナ)
 - ②職名 校長・教頭・教諭(教務主任・研修主任・生徒指導主事・その他) 兼課教諭・事務職員・講師・指導主事・本学学生・本学院生・その他
 - ※中学校や高等学校の場合、担当教科名
 - ③所属学校等名
 - ④メールアドレス(個人)
 - ⑤10年研修対象者の有無
 - ⑥受講希望講座
 - 学習者目録で授業研究会を変えよう(8月3日)
 - みんなが参加したくなる校内研修(8月5日)
 - ゼミ(通年)
 - ⑦通信等

※④メールアドレスは、受講講座の連絡のため使用させていただきますので、個人のメールアドレス(携帯メールの場合は、PCメール宛先がわかる)を記載願います。
※複数講座を受講希望の方は、⑥受講希望講座に続けてご記入ください。
※申し込みの詳細は、本センターホームページ(<http://www.rde.fukushima-u.ac.jp/>)で確認ください。

その他

- 本講座の受講料は無料です。
- 本講座(1日講座)は、10年研の「課題研究」の対象となります。申し込みメール又はFAX専用通信票の⑤(10年研対象者の有無)にその旨を記入するとともに、10年研対象者であることを証明する本センター所定用紙(10年経験者研修受講証明書⑤) (校長の証明が必要)を各自ご持参ください。
- ※10年経験者研修受講証明書は、本センターホームページ掲載のファイルを利用ください。
- 講座日程や会場等に変更が生じた場合は、本センターホームページ・facebookに掲載します。
- 講座についてのお問い合わせは、下記の本センター事務局まで受け付けます。

講座についてのお問い合わせは
学校臨床支援センター事務局まで
TEL.024-548-8110

ごあいさつ

福島大学 人間発達文化学類附属
学校臨床支援センター
教務部 教務主任 兼務

宗形 潤子

子どもどのように学んでいるんだろう?求められている学びを実現するために必要なことって何だろう?昨今の改革により、教育は大きく変化した先生方に求められることもより高度なものとなりました。でも、そんな今だからこそ、教師自身も共に学び、考え合うことでよりよいものを見つけていくことが大切です。今年度は、先生方が授業・校内研修改善のために新たな視点を持ち、考え合う方法を学んだ方ができるプログラムとしました。共に学ぶことで、新たな一歩を踏み出しましょう。



Check!
各講座の会場は、
福島大学となります。
(〒960-1296福島市金谷川1番地)

P 構内各駐車場を無料でご利用いただけます。

※駐車場ご利用の方は、構内入口ゲートで「入場券」をお取りいただき、講座受付時に提示いただければ、無料化処理いたします。

構内入口ゲート

お車での入場はごちからから

8/5 理工学類後援会記念棟
8/3 通年 学校臨床支援センター

お申し込み締切 **7/18** 木
★通年講座につきましては、2回目以降の申し込み締め切り後に受け付けます。
★1日講座も会場に余裕のある場合、締切後の申し込みも受け付けます。

メールかFAXにて個人ごとにお申し込みください。
★FAX送信用紙は別途メールにて各学校宛にお送りいたします。

✉ kyoiku-s@adb.fukushima-u.ac.jp
☎ 024-548-3181
※おかけまちがいの無いようご注意ください。

Check!
6月中に各学校に
実施要項がメールで
送付されます。

詳しい情報はホームページ・facebookにて更新してまいります。
★福島大学 学校臨床支援センターホームページ
<http://www.rde.fukushima-u.ac.jp/>
福島大学 学校臨床支援センター 様

▼▼▼ 受講お申し込みに必要な情報は「受講の申し込みについて」を合わせてご確認ください ▼▼▼

教育復興を支える学校の力・授業の力

令和元年度 教職員 研修講座

授業・校内研修を
変えたい先生集まれー!!!

子どもも教師も変わる授業・
みんなが参加したくなる校内研修

1日講座 通年研修

福島大学 人間発達文化学類附属
学校臨床支援センター





授業・校内研修を変えたい先生集まれー!!!

子ども教師も変わる授業・みんなが参加したくなる校内研修



1日講座

8/3土

会場:学校臨床支援センター 特別教室
10:00~16:15
(9:40より受付)

学習者目線で 授業研究会を変えよう

「対話型模擬授業検討会」とは

授業に対して「〇〇がよかった」と評価し合ったり「〇〇すればよい」と助言し合ったりするのではなく、その授業のなかで学習者役と授業者役がそれぞれ感じたり考えたりしたことを交流することで、問いを浮かびあがらせ、共にリフレクション(省察)を深めていくような検討会のスタイルです。それを通じて、リフレクションの深め方やそのための対話の仕方をトレーニングします。

受講者へのメッセージ

子どもたちの学びの場をよりよいものにしていくためには、まず、それにたずさわる教師たちが、自分たちの学びの場に意識的になり、よりよいものへと組み替えていく必要があります。そのための一つの手がかりを示して、今後の授業研究会のあり方を一緒に考えることができればと思います。



講師 | 紹介

東京学芸大学教職大学院
准教授 渡辺 貴裕 先生

プロフィール

専門は教育方法学、教師教育、兵庫県出身、京都大学大学院教育学研究科専攻後期課程修了。学びの空間研究などを主とし、小中高の先生方と共に、身体と空間の力、想像力を活かした授業について実践的に追究してきました。

著書

『小学校の模擬授業とリフレクションで学ぶ 授業づくりの考え方』(筆著、くろい出版) / 『教師』になる劇場(共著、フィルムアート社) / 『ドワッと学びの場』(共編著、成成書房)など。



講 | 座 | 内 | 容

10:00~10:15 開会

10:15~11:45 講義 教師集団の学びとリフレクション

リフレクション(省察)とはどういうもので、それが教師の学びとどのようにかかわるのか、また、それが校内研修のあり方とどのような示唆を与えることになるのか、考えます。

12:45~14:15 演習 対話型模擬授業検討会の実演

東京学芸大学の教職大学院生らが、対話型模擬授業検討会を実演します。また、それをめぐってのグループ・ディスカッションの場を設けます。

14:30~16:00 演習 対話型模擬授業検討会の体験とその発展

グループに分かれて、対話型模擬授業検討会を体験します。また、この発想やスタイルをどのように校内研修に活かすことができるか、ディスカッションを行います。

16:00~16:15 閉会

1日講座

8/5月

会場:理工学類後援基金記念棟
第1会議室
10:00~16:15 (9:40より受付)

みんなが参加したくなる 校内研修

「ラウンドスタディ」とは

Round Studyは、授業研究の事後研究会の手法として、企業研修の手法であるワールド・カフェを活用して開発した全員参加型の研修方法です。席替えを含むグループでの会話を通し、個々の視点や考え方を交流し、協働の知を生み出すプロセスを辿ります。Final Roundでは、参加者全員の知をつなげ、課題解決に向けた新しい知の創造に向かいます。冊書を取り扱い、リラクゼーションの中で、自由に語り合うことが大切にされ、そうした他者との関わりの中でこそ新しい知が生み出されるという確信に基づいて行われる研修です。

受講者へのメッセージ

校内研修や授業研究は、本来、子どもたちの伸びる芽をはぐみ、子どもたちの幸せを願って行われるもの。大きな成果を謳わずとも、沢山の人の賞賛を受けずとも、目の前の子どもの成長をとりえ、それを、携わった仲間とともに喜ぶことできる、そんな営みを日々積み上げていくことができれば、そこに教師としてのやりがいや誇りを見出すことができるのではないのでしょうか。校内研修や授業研究、授業づくりは、そのエネルギーを共に培っていくことのできる大切な場です。そんな素敵な教師の学びの場所の姿とともに探究していきます!

講 | 座 | 内 | 容

10:00~10:15 開会

10:15~11:00 講義・演習 「校内研修、共同研究の魅力と課題」について語り合おう!

そもそも私たちは、何故、校内研修や授業研究に取り組んでいるのでしょうか?それは、しなければいけないことなのでしょうか?一度、原点に立ち返って考えてみましょう。まず、参加者で、お互いの校内研修や授業研究に対する考え方を交流するところから研修をスタートします。

11:10~12:10 講義 私が取り組んできたこと ~校内研修・自主研究会~

現場の教師の時に取り組んできた研究指定校での実践、自主研究会である「ほのくに生活・総合研究会」の取組等について紹介しながら、私自身の、校内研修や授業研究に対する考え方をお話します。それを午後のRound Studyの演習へとつなげていきます。

13:15~16:00 演習 やってみよう! Round Study

最初Round Studyが誕生してきた経緯、それがめざすもの、Round Studyの概要等についてお話しします。その上で、総合的な学習の時間の実践論文「小坂井を食べよう 地産地消から食を見つめよう」を題材として、Round Studyを行います。Round Studyは、いろいろアレンジされて活用されますが、基本型に近い形で行います。

16:00~16:15 閉会

講師 | 紹介

四天王寺大学教育学部
准教授 原田 三朗 先生

プロフィール

愛知県で中小学校の教諭を務め、多くの学校の授業研究会や研究発表会に関わることも、長年に渡り、若い先生たちと専門である算数科、生活科、総合的な学習を始め、様々な教科等の実践づくりに取り組んできました。現在は、四天王寺大学教育学部で教師をめざす学生たちと共に教育について考える毎日です。

著書

『総合的な学習の時間の指導法(大学テキスト理論と実践の融合)』(共著、日本文教出版、2018) / 『Round Study 教師の学びをアクティブにする授業研究』(共著、東洋館出版社、2017) / 『アクティブラーニングを超える授業 一貫の学びのデザイン』(共著、日本標準、2017) / 『アクティブラーニングを超えていく! 研究する! 教師へ』(共著、日本標準、2017)



通年研修

全4回開催

9/1日

2回目以降は参加者と相談し、9月末、10月、11月、12月の土曜日もしくは日曜日に開催予定。1回のみ参加も可能です。
各回 9:30~14:40 会場:学校臨床支援センター 特別教室
(9:10より受付)

授業、校内研修を変えたい先生のためのゼミ

校内研修、そして授業を変えたい!と考えている先生方、同じ悩みを持っている先生がたくさんいます。そんな先生方と一緒に考え、振り返り、学ぶことで明日も頑張ろう、チャレンジしてみようという気持ちが湧いてくる講座です。

受講者へのメッセージ

校内研修を変えたい!でもみんなが意欲的に参加するためにはどうしたらいいだろう?授業研究ではどんなことを言ったらいいのかよくわからない...授業をもっとよくしたい、でも一体何をやったら?そんな先生のために開催するゼミ形式の研修です。



講師 | 紹介

福島大学 人間発達文化学類
准教授

坂本 篤史

福島大学 人間発達文化学類附属
学校臨床支援センター 特任教授

佐藤 和彦

福島大学 人間発達文化学類附属
学校臨床支援センター 教授

宗形 潤子

講 | 座 | 内 | 容

第1回
9/1日

「まずは悩んでいること、チャレンジしたいことを明らかにしよう」

共有した後、みんなが参加したくなる校内研修・授業改善のために大事なことは何か考えていくことから始めましょう。

第2回
-4回

「できることは何だろう?そして、どんどんやってみよう」

それぞれが困っていることやうまくいったこと、チャレンジしてみたいこと、実践を持ち寄り、よりよいものにするために何ができるか考え、実際に進めていきます。

